

# 総合患者支援センターニュース

〒700-8558  
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号  
岡山大学病院  
総合患者支援センター  
☎086-223-7151 (代表)  
☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning  
Okayama University Hospital



センターの活動に関しては  
ホームページ (<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)  
をご覧ください。

## ～認知症疾患医療センターについて～

榎野博史センター長

平成24年に岡山大学病院は認知症疾患医療センターに指定されました。当センターは私、榎野博史をセンター長、神経内科の阿部教授と精神科神経科の内富教授を副センター長として運営に当たっています。当センターの役割は早期診断や高度の鑑別診断や薬物治療の方針を決定し、かかりつけ医をサポートすること、認知症患者さんの問題行動や合併する身体疾患に関して入院加療や適切な医療機関の紹介を行うこと、また、社会活動として介護者や御家族への教育活動や一般市民への啓発活動を行うことなど多岐にわたります。これらは神経内科および精神科神経科、一部の認知症疾患については脳神経外科でも対応しています。また、実際の診療では新規の認知症検査の開発(タッチパネル式簡易スクリーニング検査[下図]、患者の問題行動のスケール)、新薬の臨床試験(メマンチン、リバスチグミンの市販後臨床試験など)にも取り組み、地域住民の健診などにも還元しています。認知症は早期の診断、進行予防が非常に重要です。もし、自分自身またはご家族、友人、近所の方など物忘れが気になられるようでしたら、一度、受診をお勧めします。当センターの相談窓口は神経内科外来、精神科神経科外来、総合患者支援センター内に設置されております。

よろしくお祈りします。



↑タッチパネル式簡易スクリーニング検査

### お薬のご相談

現在、アルツハイマー型認知症の治療には4種類の薬剤が使用でき、より早期から薬物治療を開始する方が、有効性が高いこともわかってきました。認知症の治療薬も、他の薬剤と同様、抗菌薬や排尿困難治療薬などの相互作用や副作用が問題となる場合があります。患者さん毎に合併している疾患や、その治療のために服用している薬剤が違うので、一人一人にあわせて相互作用や副作用に注意を払い、最適な薬物療法を行う必要があります。

認知症の治療薬についてご不安なことがありましたら、主治医や認知症疾患医療センター窓口を通してご相談ください。

### 療養上のご相談

認知症疾患医療センターでは、患者さんやご家族からの様々なご相談に対応しています。「最近物忘れが増えた。」など、病気についてご心配や不安はありませんか。相談員がお話をうかがいます。

また在宅での生活に関すること、介護が必要になったらどこへ相談したらよいかというご相談には地域の相談窓口のご紹介や連絡・調整なども行います。まずはお気軽にご相談ください。

- 診療についてのご相談：岡山大学病院（代表）086-223-7151 から神経内科外来・精神科神経科外来へ
- 療養上のご相談：岡山大学病院総合患者支援センター（直通）086-235-7744 へ

## 医科と歯科の連携

当院の歯科は、がんの治療をしている方・移植の方・手術前後の方など、医科診療科と連携してサポートをする部門や、障害や疾患により飲み込みの障害をもつ方のサポートをする部門があります。

今回は、それぞれの部門についてご紹介します。

### ～医療支援歯科治療部のご紹介～

#### ○医療支援歯科治療部とは？

医療支援歯科治療部は、岡山大学病院での医科と歯科の連携を促進するため、2011年4月に活動を始めました。患者さんの状態に合わせて歯科の立場から様々なサポートを行えるよう努力を重ねています。岡山大学病院は全国に先駆けてこのような治療部を設置しています。

#### ○何をしているの？

ちょっとしたむし歯や歯周病、そして親知らずの感染などが、いろいろな医科治療を行う上で妨げになることがあります。また、抗がん剤・放射線治療などが口の中につらい副作用(重度の口内炎など)を起こすケースもあります。医療支援歯科治療部は、歯科医療を通じてこのようなことを予防したり、治療により症状を和らげることで、できるだけ患者さんが楽に医科治療を乗り切れるよう努力しています。

医療支援歯科治療部には以下の二つの専門部門があります。

#### 1. 高度医療支援歯科部門

臓器移植や腫瘍治療などによって感染しやすい状態にある患者さんの歯科治療及び口腔ケアなどを行います。血液・腫瘍内科、肝胆膵外科・消化器内科(肝移植)、泌尿器科(腎移植)、腫瘍センター(外来がん化学療法)、頭頸部がんセンター(化学療法、放射線治療)をはじめとし、多くの医科系診療科等からの院内紹介に対応しています。

#### 2. 周術期管理歯科部門・周術期管理センター 歯科部門 ～手術前後を管理する部門～

手術前後の歯科治療、口腔ケアそして口の機能回復のサポートを中心に行います。周術期管理センターの一部門として、呼吸器外科手術、消化管外科手術(食道手術)、頭頸部がんセンター(咽喉頭食道摘出術)における周術期管理に関わり、歯科の立場でサポートします。周術期管理センターの活動とは別に、循環器内科・心臓血管外科からの院内紹介など、様々な手術でも口の中の管理をしています。



#### ○受診するには？

現在のところ、院内医科系診療科からの紹介で、受診していただくケースがほとんどとなっております。初診の受診は原則予約制にさせて頂いております。様々な医科治療を受けられる中で、お口についての相談等がございましたら、主治医にご相談いただくか、お電話でご連絡ください。

ご連絡先:医療支援歯科治療部 086-235-6818(外来直通)

### ～スペシャルニーズ歯科センターのご紹介～

#### ○スペシャルニーズ歯科センターとは？

様々な障がいや疾患を有するため、特別な対応が必要な患者さまの歯科治療を行う診療室です。むし歯や歯周病などのほかにも、食べることが難しい、食事中にむせるなど、摂食・嚥下障害の方の診療も行っています。

#### ○受診するには？

外来の診察は、初診・再診ともに予約制となっております。あらかじめお電話で予約してください。

ご連絡先:スペシャルニーズ歯科センター 086-235-6817(外来直通)

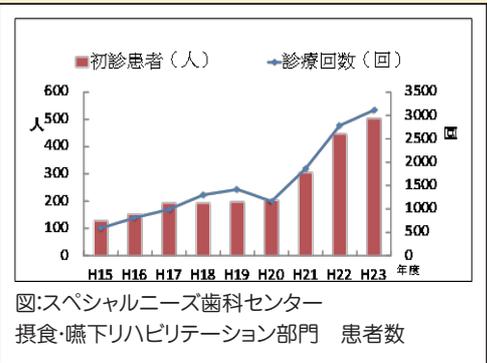
入院中の患者さんは、病棟より往診依頼を頂き、随時、病棟へ伺います。

#### ○医科との連携

食事がのどに引っかかる、水分でむせる、飲み込めないなどの誤嚥(気管に食物が流れ込む)の症状がみられる入院中の患者さんについて診療を行います。嚥下機能検査等を行い、異常について評価します。検査の結果、安全に食べられる食形態や食べ方の工夫について検討し、食べるための訓練が必要な場合は訓練を行います。必要に応じて、食形態については管理栄養士や栄養サポートチーム(NST)、訓練については主治医や看護師、リハビリスタッフなどと相談します。

摂食・嚥下障害を生じやすい病気として、脳卒中やパーキンソン、筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの神経難病があります。それらの治療や検査のために入院している方が、誤嚥しないように、また、口から安全に食べられるように検査を行います。最近では、手術後に、誤嚥をしないように検査を行ってから食事を再開する場合も増えてきています。今後も、入院患者の誤嚥リスク回避や早期経口摂取を目指し、院内連携が必要です。

「口」は毎日の食事をするために必要な器官です。手術などでまだ食べられない時でも、口の機能が低下しないように、「お口のケア」が必要です。



## 床ずれ(褥瘡)予防キャンペーンを開催します!

岡山大学病院では、患者さんの「床ずれ」予防と治療のため、褥瘡対策委員会、褥瘡クリニックチーム、褥瘡対策リンクナース会、皮膚・排泄ケア認定看護師が連携して活動しています。できてしまうと患者さんご本人はもとよりお世話をする人にとっても悩みの種になる「床ずれ」は日頃からの予防が重要。そこで褥瘡対策の実際を患者の皆様や近隣の施設の皆様へ紹介するため、初の試みとしてキャンペーンを企画しました。是非、ご来場下さい。お待ちしております!

**岡山大学病院 第1回 2012**

知ってみたい!!  
とこ  
いふと

**床ずれ(褥瘡)予防  
キャンペーン**

日時:平成24年11月22日(木)  
10時~14時  
場所:医科歯科連絡通路(ローソン裏)  
参加費:無料  
どなたでも参加して頂けます。  
\*できるだけ公共交通機関をご利用ください。  
お車で来られる場合は、駐車場(有料)をご利用ください。

なぜ床ずれはできるの?  
床ずれ(褥瘡)って何?  
予防やケアの仕方?

そんな疑問にお答えします。

**<イベント内容>**

☆当院褥瘡対策委員会メンバーによる**床ずれ(褥瘡)予防相談**  
(医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士)

- ①床ずれ予防マット(エアマット、車椅子体圧測定等)の展示
- ②栄養相談:管理栄養士
- ③口腔ケア相談:歯科衛生士
- ④床ずれ予防のためのスキンケア相談:皮膚排泄ケア認定看護師  
薬剤師
- ⑤皮膚科医師による床ずれ相談 10時~11時

各相談ブースにて、床ずれ予防のスキンケアグッズ、おむつ、エアマットなどの展示も行っております。  
この機会に是非お立ち寄りください。

<お問い合わせ先>  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1  
岡山大学病院 看護部 副看護部長 前川珠木  
086-235-6547 (平日9:00~17:00)

<主催>  
岡山大学病院褥瘡対策委員会  
看護部褥瘡対策リンクナース会



**皮膚・排泄ケア認定看護師です。  
外来・病棟で頑張っています。**

**褥瘡対策委員会のメンバーです。医師・看護師・薬剤師・  
管理栄養士・歯科衛生士・事務職員で構成されています。**

### 第九回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会に参加

本年7月20日(金)~21日(土)に東京医科歯科大学医学部附属病院で、第九回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会が開催され、総合患者支援センターから医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・事務員で参加してきました。

一日目は、「連携・退院支援部門のこれまでとこれから~次の10年を見据えて~」とのテーマでシンポジウムが行われ、二日目は、それぞれの職種で分かれ、現状報告や診療報酬改訂に対する取り組みについて、情報交換などを行ないました。

## 岡山県がん診療連携拠点病院 市民公開講座のお知らせ

市民公開講座は各がん診療連携拠点病院において、市民へがん医療に関わる情報や岡山県がん診療連携拠点病院とのがん相談支援センターの役割を広く知っていただくために開催されています。岡山大学病院が主催となる本講座は年1回行われており今年度で6回目となります。

今回は、順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座教授の樋野興夫先生をお迎えしました。樋野先生は広くがん患者やがん医療に関わるものを対象として、がん哲学外来(がん患者や家族の安心につながる対話の場)を中心として、生きることの根源的な意味を考えようとする患者と、患者・家族と向き合う医療者、そして市民との対話の場を整え、医療の隙間を埋めるための活動に尽力されています。

がんを持ちながらも人生を生きることの意味を共に考えてみませんか？多数のご参加をお待ちしております。

日時:平成25年1月20日(日)13:00~16:00 (受付12:30~ 個別相談会16:15~17:00)

会場:岡山コンベンションセンター2階 レセプションホール

内容:岡山県がん対策の取り組み

がん相談支援センターについて

基調講演「がん患者との対話～がん哲学外来の現場から～」

対談「がん患者との対話～がん人生を生きるために～」

講師 樋野 興夫(ひの おきお)氏

語り手 樋野 興夫氏

聞き手 齋藤 信也氏

がんに関する個別相談会《事前申込み要》

参加費:無料

お問い合わせ先:岡山大学病院 医事課診療支援担当 電話086-235-7072

申込み不要

## 病院ボランティアさんを募集します！

患者さんが少しでも快適な療養生活を過ごしていただけるように、  
また安心して外来を受診していただけるように、ボランティア活動員の募集をします。

お問い合わせ先  
総合患者支援センター  
086-235-7744

募集期間:2012年10月~11月末(年2回春秋に募集)

\* 16歳以上で、一定期間の活動が出来る方をお願いしています。

\* 詳細は、お問い合わせ下さい。

### 患者図書室

活動日時:毎週月~金曜日

10:00~15:00

本の貸出や、病棟への移動図書を行っています。



### 子供の遊び相手

活動日時:月に一度、月曜日

14:00~16:00

小児科に入院中のお子さんと一緒にプレイルームで工作や本を読んだりしています。

### 園芸

活動日時:毎月第1, 3金曜日

10:00~

入院棟の裏に、お庭を作っています。四季折々のお花の手入れや植え替えをしています。



### 外来案内

活動日時:毎週月~金曜

午前中

診察室や検査室へのご案内、外来受付の説明を行っています。



### 循環バスの運行開始

渋滞緩和にご協力をお願いします。

平成24年7月20日から、循環バス(愛称:めぐりん)の運行が開始されました。岡山駅前(ドレミの街前)を発着点とするAルート(右回り)と岡山駅前(高島屋入口)を発着点とするBルート(左回り)があり、それぞれ大学病院入口にも停車します。運賃は、小学生以上は100円均一で、小学生未満は無料となっています。路線図等詳しくは、『めぐりんHP(<http://megurin-okayama.com/>)』をご覧ください。